



NEWSLETTER

NELIS サポーター・プログラム ニュースレター



世界で挑戦する次世代リーダーたちは、 どのように課題と向き合い、変化を生み 出しているのでしょうか？

このニュースレターでは、皆さまのご寄付によって支えられているOne Million Leaders (OML) *の活動をご紹介しますとともに、「リーダーシップ」と「サステナビリティ」をテーマに、アフリカ、アジア、ラテンアメリカ、中東・北アフリカの若者たちのストーリーや実践から、新しい視点と、未来をより良くするためのヒントをお届けします。

Contents

ごあいさつ	...	2
数字で見る2026年前半のインパクト	...	3
各地域事務局からの最新ニュース	...	4-7
フェローストリー: Dr. Yi-Ju Lee	...	8-9
コラム: ピーターにきました!	...	10

*OMLとは？

OML (One Million Leaders) は NPO法人NELISが主宰する、2030年までに100万人の次世代サステナビリティリーダーの育成を目指すフェローシッププログラムです。アフリカ、アジア、ラテンアメリカ、中東・北アフリカの4地域を対象に、6～9か月のオンライントレーニングおよびプロジェクト支援プログラムを提供しています。

OUR MISSION

若者が明日を恐れることなく生き、リーダーシップが特権ではなく他者への奉仕であり、多様性が争いや憎悪ではなく喜びと革新の源となる。私たちはそんな未来を創造することを目指しています。

ごあいさつ

会員の皆さま、いつも温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

このニュースレターでは、皆さまのご寄付によって支えられているOne Million Leaders（OML）の活動をご紹介しますとともに、世界各地で挑戦する次世代リーダーたちのストーリーや実践を通して、リーダーシップとサステナビリティについて、ともに学び、考える機会をお届けします。

NPO法人NELIS（Next Leaders' Initiative for Sustainability）は、2004年のスーパーあずさの旅から始まりました。諏訪湖の湖畔で開催された「ヤング・グローバル・リーダー会議」で講演するため北上していた時、ふと浮かびました。「持続可能」といえる未来をつくるためには、世界各地の次世代リーダーをつなぎ、変革者としてエンパワーすることが必要になるのではないかと。どんなに大変であっても、一人一人をボトムアップで結び付け、「質＝リーダーとしての変革力」と「量＝人数」の両面から成るグローバルなネットワークをつくる必要があると思い、一歩ずつ行動を始めました。

ところが、2005年大晦日に負った首の怪我をきっかけに、2014年までのほとんどの期間を「体調不良」との対峙に費すことになりました。徐々に体調が回復し、「さあ、残りの人生で何をするか」とあれこれ模索していた時、10年前に描いた「NELIS」の構想を実現しようと決意しました。

翌年、二人の共同設立者とともに非営利法人を設立し、その年の秋には最初のリーダー25名を14か国から近江八幡に招聘しました。そこから少しずつ人の輪を広げ、5年ほどの試行錯誤を経て、2020年にOne Million Leadersフェローシップ・プログラム（OML）がアフリカで船出し、2022年から現在の4地域へと広がっていきました。

2025年末時点で、約12,500名の若きリーダー（大半は20～30代のヤング・プロフェッショナル）を輩出し、これまで活動に参加したメンバーの出身地は100か国以上に登ります。4つの地域事務局では29名のスタッフが、それぞれプログラムを運営しています。OMLを展開する最大の喜びは、大きく成長し、守備範囲を広げ、自分の可能性の制約を取っ払った次世代リーダーと接し、彼らからインスピレーションと勇気をもらう瞬間です。

しかし、これでもまだ始まったばかりです。まともな世の中をつくるには、まさにNELISが掲げる「100万人」の質の高いリーダーの活躍が待ち望まれています。皆さまのご支援は、その歩みを支える大きな力となっています。

ぜひ本ニュースレターを通して、世界各地のOne Million Leadersコミュニティのストーリーや実践に触れ、リーダーシップとサステナビリティについて考える時間をお楽しみいただければ幸いです。

あずさの旅が続きます……

ピーター・D・ピーダーセン

NELIS 共同設立者 / 代表理事



数字で見る2026年 前半のインパクト

OMLは2022年のプログラム開始から5年目を迎えています。今年度の募集では、123の対象国のうち、96の国と地域から4,888件の応募がありました。その中から選ばれた699人が今年度のプログラムに参加しています。



OMLでは、123の国と地域をカバーするため、コロンビア、ナイジェリア、レバノン、ネパールに地域事務局を設置しています。英語・スペイン語・アラビア語の3つの言語でプログラムを提供し、一部で入学金を導入しているものの、原則として無償でオンラインプログラムを実施しています。

これにより、紛争や社会的・経済的な困難など様々な課題に直面しながらも、未来への強い志を持つ世界中の若者に、学びの機会を提供することができます。国や地域を越えて多様な若者が繋がり、ともに学び合いながら、持続可能な社会の実現に向けたリーダーシップを育んでいます。

応募総数

4888
件

699人
のフェローが参加

グローバルサウス

76カ国
からフェローが参加

各地域事務局からの最新ニュース

ナイジェリア事務局より

184名の新たなリーダーとともに、アフリカ各地で広がる学びと実践



寄稿者:

Mary Afolabi

OMLA Project Coordinator (Nigeria)



今年は20か国から寄せられた1,032件の応募の中から、**184名のフェロー**を迎え入れ、次世代リーダーの育成を進めています。また、これまでのプログラム修了生も、メンタリングや知識の共有、地域でのプロジェクトへの参画を通じて、それぞれのコミュニティで活躍の場を広げています。

環境分野では、新たに「**Green Guardians Youth Leadership Programme**」を開始しました。このプログラムでは、中等学校（日本の中学校・高校にあたる学校）へ、教材やリーダーシップ・プログラムを提供し、環境問題を「学ぶ」だけでなく、生徒自身が地域の課題解決に取り組むリーダーとなることを目指しています。すでに、ナイジェリアの中等学校65校と連携し、初開催となった**Green Guardians Summit**では、参加した27校中25校が今後もプログラムへ参加する意思を表明しました。

さらに、OMLAの代表的なプログラムである**ブートキャンプ**の今年の準備も完了しました。ブートキャンプは、11～18歳の高校生世代を対象に、夏休み期間の3週間にわたって実施される集中研修です。リーダーシップに加え、持続可能性、起業家精神、気候変動、ICT（情報通信技術）、キャリア形成などを実践的に学びます。今年は**14校・約300名**の生徒が参加しこれまでで最大規模の開催となる予定です。

加えて、「**AgroReach E-Learning Launchpad**」とのパートナーシップを通じて、**400名以上の若者**がアグリビジネスや起業に関する知識とスキルを身につけました。

これらの取り組みを通じてOMLAは、アフリカにおける次世代の倫理的で起業家精神あふれる変革型リーダーの育成に向け、着実に歩みを進めています。



Green Guardians Summitの様子



Green Guardians Youth Leadership Programme
提携校でのプログラムの様子

若者の力で描く チュニジアの未来 Tunisia Youth Forum 2026



OML-MENA
One Million Leaders
Middle East & North Africa



寄稿者:

Nivine Nasrallah

OML-MENA Program Coordinator
(Lebanon)



Tunisia Youth Forum 2026は、チュニジアのより持続可能な未来をともに考え、創り出すための対話と協働の場となりました。当日は、若者をはじめ、イノベーター、研究者、起業家、地域のリーダーなど、多様な立場の参加者が集まり、チュニジアの若者が直面する課題について意見を交わしました。そして、リーダーシップ、イノベーション、そして協働を通じて、どのように持続的な解決策を生み出せるかをともに探究しました。

登壇者は、それぞれの経験をもとに、アイデアを行動へと移すことの大切さや、研究や起業が社会に前向きな変化をもたらす力について語り、参加者に大きな刺激を与えました。

また、参加型セッション「World Café」では、一人ひとりが自由に意見を交わしながら、公共政策、教育、起業、若者のエンパワーメントといったテーマについて実践的な提言を共同でまとめました。

今回のフォーラムは、若者たちが持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動し、より包摂的でレジリエントな未来を築いていく大きな可能性を改めて示す機会となりました。

こちらのQRコードから
イベントの様子を
動画でご覧いただけます



Tunisia Youth Forum 2026の様子

南から生まれる知恵をつなぐ

「Living Socio-Environmental Glossary」プロジェクトが始動



寄稿者:

Maria Juliana Jiménez

OMLATAM Program Manager
(Colombia)



ラテンアメリカでは、「サステナビリティ」は単なる専門用語ではなく、人々の暮らしや地域に深く根ざした実践そのものです。

その知恵や経験を共有するため、One Million Leaders Latin America (OMLATAM) は、「**Living Socio-Environmental Glossary (生きた社会・環境用語集)**」という共創プロジェクトを立ち上げました。この取り組みでは、地域で活動する人々やフェロー、アクティビストが、それぞれの地域で**社会・環境課題にどのように向き合い、変化を生み出しているのかを、言葉や体験、写真などを通じて発信**しています。先住民族の権利、気候正義、サーキュラーエコノミーなど、多様なテーマについて、地域ならではの視点や実践が集められています。

現在はラテンアメリカを中心に進められていますが、将来的にはグローバルサウス全体へと広げ、草の根の知恵を世界中で共有できる場にしていくことを目指しています。

日本の皆さまからのご参加も大歓迎です！ ラテンアメリカ以外の地域にお住まいの方や、日本から活動を応援してくださる皆さまの視点も、このプロジェクトにとって大切な財産です。ぜひ、ご自身の経験や考えを共有し、この知識のネットワークづくりにご参加ください。

投稿はこちらから



ヒマラヤの麓で学ぶ、 地域とともに歩む リーダーシップ



2026年11月19日から27日にかけて、OMLASアルムナイを対象にした体験型プログラム「Community Immersion Program」が開催されます。

参加者はヒマラヤの麓にあるLwang村に滞在し、地域の人々と生活をともにしながら、持続可能な暮らしやコミュニティづくりについて実践的に学びます。地域の文化や先住の知恵に触れ、気候変動への適応や地域資源を生かしたコミュニティビジネスなどを体験することで、教室では得られない学びを深めることができます。

このプログラムは、「地域から学び、地域とともに未来をつくる」というOMLASの理念を体現する取り組みのひとつです。フェローたちは現地での経験を通して視野を広げ、それぞれの地域で持続可能な変化を生み出すリーダーとして、さらなる成長を目指します。

2026年度の**One Million Leaders Asia (OMLAS)** フェローシップ・プログラムは、大きな節目を迎えています。5月に開講して以来、フェローたちは**28回**のライブセッションを通して、「Base Camp」「Personal Wellbeing & Resilience」「Sustainability Essentials」「Ethical & Transformative Leadership」の4つの学習テーマを修了し、現在は最後のテーマ「Social Innovation&Social Entrepreneurship」に取り組んでいます。

プログラムではアジア各国のフェロー同士が互いに支え合うコミュニティも育まれています。**バディ制度**を通じて互いに振り返りや実践を重ね、国境を越えたつながりが広がっています。



OMLASオンラインセッションの様子

学びから実践へ OMLASが新たなステージへ



寄稿者:

Ade Damayanti

OMLAS Program Coordinator
(Indonesia)



8月からは、プログラムの第2フェーズとして、「Champion Empowerment」がスタートします。フェローはそれぞれの地域で若いリーダー（チャンピオン）を育成し、自らが学んだリーダーシップを実践へとつなげていきます。すでに多くのフェローがチャンピオンの募集を始めており、国を越えた共同プロジェクトも生まれています。

OMLASは、単なる研修プログラムではなく、**生涯にわたって互いに学び合い、支え合うチェンジメーカーのコミュニティへと成長を続けています**。これからフェローたちが、それぞれの地域でどのような変化を生み出していくのか、ぜひご期待ください。

フェローからのストーリー

「OMLASは、大学では得られなかったものを私に与えてくれました。それは、アイデアを行動へと変えるための自信と実践的なスキルです。そして、「成長するのに遅すぎることは決してない」ということです。」

私は台湾で、AIとヘルスケアの分野に取り組む研究者です。オックスフォード大学とマサチューセッツ工科大学で学びましたが、それらの教育機関では**知識を、人々のための具体的な変化へとつなげる方法**を学ぶことはできませんでした。

OMLASには、フェローの中では比較的年齢の高い立場で参加しました。最初は、まるで一枚目の作品に描かれた人物のように、足元を見つめながらも、その先にある希望へ手を伸ばしているような気持ちでした（次頁参照）。遠くへと伸びる繊細な金色の糸は、「今からでも本当に新しいことを学び、これまで積み重ねてきた経験を社会へのインパクトにつなげられるのだろうか」という私自身の問いを表しています。

そして迎えたのが、二枚目の作品が表現する「美しい混沌」でした（次頁参照）。アジア各国から集まった多様な文化や価値観、リーダーシップに対する考え方が交わり、時にはぶつかり合いました。特に若いフェローたちと学ぶ時間は、とても刺激的でありながら、自分の固定観念を見直すきっかけにもなりました。

OMLASには、こうした違いや衝突を安心して受け止められる環境があります。思い込みを問い直されても、初歩的な質問をしても構いません。年齢や背景に関係なく、これまでの考え方を一度壊し、新しい形へと組み立て直すことができる。その安全な場があったからこそ、大きく成長することができました。

寄稿者:

Dr. Yi-Ju Jean Lee

OMLAS Fellow 2025

Project Manager of the [Smart Health Project](#)
PhD in Interdisciplinary Neuroscience
(Taiwan)



私はここで、長年の研究生活では身につけられなかったことを学びました。相手に伝わる形でアイデアを提案する方法、持続的な変化を生み出すための設計、そして何より、自信を持って自分の考えを伝える力です。

実は先週、OMLASで学んだ「Theory of Change」のフレームワークを活用して新しいプロジェクトを提案する機会がありました。これまでのように遠慮がちでも、専門用語ばかりでもなく、自分でも驚くほど明確に伝えることができ、必要なリソースを確保することができました。それ以上に大きかったのは、「台湾の高齢者や、取り残されがちな地域の人々が、より良いテクノロジーを利用できる社会をつくりたい」という想いを、自分らしく、そして力強く語れるようになったことです。

若い仲間たちは、私がこれまで別々の活動だと思っていたもの——AIリテラシー教育、若者政策への提言、医療テクノロジーの開発——が、実は一つの大きな目的につながっていることを教えてくれました。それは、「台湾の誰もが、特に取り残されやすい人々も含めて、テクノロジーの恩恵を受けられる社会をつくること」です。

年齢は決して壁ではありません。むしろ、これまでの経験があるからこそ、それぞれの糸をどう結び合わせればよいのかが見えてくるのだと実感しました。

一枚目の作品で描かれた繊細な糸は、今では確かなつながりへと変わりつつあります。二枚目の作品で表現された衝突から生まれた火花は、やがて明確な方向性へと結実しました。私はもう、希望を抱いて空を見上げているだけではありません。その希望の糸を、自らの手で現実へと織り上げ始めています。一人で課題を研究するだけでなく、アジア中の素晴らしい仲間たちと支え合いながら、課題を解決していく歩みを始めています。

これは、その始まりに過ぎません。



作品①：Threads of Connection（つながりの糸）

足元の世界を越えて、その先に広がる未来へと手を伸ばします。
希望の糸が、まだ見ぬ可能性へと静かに繋がっていく様子を表現しています。



作品②：Collisions of Growth（成長の衝突）

異なる文化や価値観、考え方が安心して交わる空間の中で、問いや対話を通じて新たな気づきが生まれ、理解が深まっていく様子を描いています。

コラム：ピーターにききました！

Q. ストレス解消法は？

A. 私はかつて、自分に全く芸術的才能がないと思い込んでいましたが、長年の病をきっかけに紙に少し色を塗り始めるとそれが楽しく、どんどん発展していきました。アートセラピーがよいとよく聞きますが、間違いなく「自分で営む音楽・美術・ダンス・アート」は、最強の自己修理の技だろうと感じます。

今年から、写真に凝っています。ちょっとした「自然の日常」を撮影し、色を多少調整したり、詩を書き込んだりする時間は、「仕事」とは全く違った“癒しの時空”と感じます。



Q. 夏におすすめの場所は？

A. **ラ コリーナ近江八幡 — NELIS誕生の地**
京都にほど近い近江八幡市に、1872年創業の菓子メーカー、たねやグループの本社があります。たねやグループのCEOである山本昌仁さんは、NELISの共同創設者でもあり、2015年から2020年まで、ここがNELISの本拠地でもありました。ラ コリーナは、まるで映画の中に迷い込んだかのような空間で、「バイオフィリック・デザイン」の世界的な好例でもあります。自然に溶け込むように建てられ、訪れる人をより幸せに、より健やかな気持ちにしてくれる建築のあり方です。ぜひ一度足を運んでみてください！



皆さまのご支援に感謝申し上げます

皆さまのご支援によって、世界各地で未来を担う若者たちが学び、挑戦し、地域や国を越えてつながっています。このニュースレターを通して、その歩みやストーリーから、皆様にも新たな視点や行動のヒントをお届けできれば幸いです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

今後の予定

9月10日 (木) オンラインセミナー②

20:00-21:30 4つの場：心

11月10日 (火) オンラインセミナー③

20:00-21:30 4つの場：体

12月12日 (土) サポーターオフ会②

終日 @鎌倉 テーマ「AX」